

石井吉徳(富山国際大学教授・東京大学名誉教授) 講演

- ・ 地球物理学専攻。環境の面から資源について専門的に研究してきた。地球は有限、資源には限りがある。(スライド石井 1)
- ・ 石油がなくなるといわれて久しいが、これまでは、消費量と新規の発掘量とが見合っていたため、問題が顕在化しなかった。(スライド石井 2) 2010 年より前に、需要に追いつかなくなる。本当に大変なことになる。(スライド石井 3) 農業は石油資源が支えている(化学肥料、海外産地からの輸送など)。エネルギーの利益率、質の低い資源は使うために加工、すなわちエネルギーが必要。よって、資源はあればいいというものではなく、質の高い物でなくてはならない。しかしながら、巨大な油田の生産量はピークを 10 年以内にむかえつつある。(スライド石井 4) 資源とは、濃縮してある。大量にある。経済的な位置にある。の 3 要素が必要。E P R (Energy Profit Ratio) で考えることが大事。(スライド石井 5)
- ・ 石油の代替は、P L A N B で考える必要がある。すなわち代替としてこれまでの方法をあらたにつなぐブリッジやその使い方を変えるステップが生み出される。それと平行して、効率を上げること、省エネルギー技術の技術開発が盛んになる。(スライド石井 6)
- ・ 原子力のガス拡散法(エネルギーをたくさん使う従来のウラン濃縮法) の E P R は 2 4 である。E P R で説明したほうが、社会的に説明が通る。(スライド石井 7)